

2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた 多言語対応協議会（第5回）



～人と技術で伝える、伝わる～

実施報告書

平成28年12月20日(火)

- | | |
|--------|--|
| ■ 催事名称 | 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会(第5回)
多言語対応・ICT化推進フォーラム
～人と技術で伝える、伝わる～ |
| ■ 日時 | 平成28年12月20日(火)10時00分～17時45分 |
| ■ 会場 | ベルサール東京日本橋(東京都中央区日本橋2-7-1東京日本橋タワー) B2F
ホールA、B、C、ホワイエ |
| ■ 主催 | 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 |
| ■ 開催目的 | 多言語対応協議会の各構成員における2020年に向けた多言語対応の取組の情報を広く共有・発信すると共に、多言語対応に有用なICT(情報通信技術)の紹介を通じて、今後の一層の推進に繋げていくため。 |
| ■ 実施内容 | 多言語対応の先進的取組、ICTの技術動向紹介、ICT化推進取組の説明、自治体・民間企業による先進的事例の紹介など |
| ■ 来場者数 | 約800名(全国の自治体、民間団体担当者など)
小池都知事、丸川 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣など出席 |
| ■ 取 材 | ： NHK、フジテレビ、テレビ朝日、TBS、朝日新聞社、読売新聞社等計18社 |

当日プログラム

	ホールA Hall A	ホールB Hall B	ホールC Hall C	ホワイエ Foyer
10:00				
13:00	(注) 入室時			
13:15	第5回 多言語対応協議会 <small>※ 構成団体のみ</small>	小池知事、丸川オリンピック・パラリンピック大臣 挨拶		
13:30	○リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック大会でのサインージ (案内表示)についての報告	リオデジャネイロ2016大会 ICT視察報告 <small>ガバメントの視察団、後援者のサインージについて報告</small> 多言語部 多言語課 ～東京2020大会に向けた取り組み～ 北塚 一哉 氏		
13:45	○交通、道路、観光・サービスの各分野からの取組状況の報告 等	学生から見たリオ2016大会レポート <small>東京外国語大学 Rio de Janeiro 2016 学生ボランティアチーム</small> ～大会ボランティア～ 山下 さおり 氏		
14:00		リオ2016大会報告「外国人旅行者の受入準備整備」 <small>株式会社リソニーター 事務局 海外コミュニケーション課長 藤原 祥平 氏</small>		
14:15				
14:30		特別講演 多言語対応の取組 株式会社西興精工株式会社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン 氏		
14:45		文化財の英語解説のあり方について ～文化財の観光資源としての発信に向けて～		
15:00	多言語音声翻訳システムの研究開発及び社会実装 ～産業界等での実用化動向～	メッシュ型ビーコンを活用した多言語対応アプリ 「ファーレ立川アートナビ」		
15:15	遊覧場所等の記号の標準化の取組	製・配・販運協議会の商品情報多言語化の取組		
15:30	バス車内における多言語システムについて	ショッピングツーリズム事業における多言語対応支援について		
15:45	特別講演 診療・病床の場における多言語音声翻訳 (VoiceTra) を活用した試み	まずは日本語でこんにちは! 厚田区での多言語対応		
16:00				
16:15	パネルディスカッション やさしい日本語の可能性			
16:30				
16:45				
17:00				
17:15				
17:30				
17:45				

PROFILE



北コーンマン・サービス・ソリューションズ株式会社
システム本部 部長 1982年ニッポン
ユニバーシティ入社、2009年、第5期海外
駐在(海外文化財の調査など)を経て、
工業博士。2017年1月に帰国後、2018年、
2019年からの帰国後、2019年、2020年
駐在、2021年からの帰国後、2021年、
ビジネス開発部長、2022年、
海外マーケティング推進部長と務める。

フロアマップ
Floor Map

B2F



日本橋駅改札口(B2F出口)

多言語対応に役立つ
ICT(情報通信技術)の紹介

多言語対応の取組のノウハウのパネル展示
構成団体取組事例について紹介

※詳細は裏面へ

ベルサール東京日本橋

B2F



II.丸川東京オリンピック・パラリンピック担当大臣より

- 1.日本全国津々浦々どんな言語でもコミュニケーションができる社会の実現を皆さまが推進して下さっていることに感謝する。政府としても2020年までに4,000万人、2030年までに6,000万人の訪日外国人旅行者の目標数を掲げている。地域活性化、資本活性化とこれをいかに結び付けるかが我が国の大きな課題である。より洗練された技術は勿論、より使いやすく、より馴染みやすいインターフェースのデザインが日本の地域の活性化に寄与するだろう。
2. 外国人の方々へハード面だけではなくソフト面での対応も必須である。その一環として日本全国でボランティアに参加して頂けるホストタウンの仕組みづくりを推進していく。また、外国人の方々に多言語で災害情報をプッシュ通知する機能を持つSafety Tipsというアプリケーションを開発したが、こうしたものを互いに磨きあい、高めあいながら多くの訪日外国人観光客はもとより、オリンピック・パラリンピックにお出でになる方々がスムーズに必要な情報にアクセスできる環境づくりを進めて参りたい。



丸川東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

第5回 多言語対応協議会

- ・共同座長: 山本副知事(東京都)、平田事務局長(内閣官房)
- ・構成団体: 66団体(多言語対応協議会 構成機関・団体名簿参照)
- ・登壇者
 - 1 規約改正(新規構成員)
 - 2 リオ2016大会視察報告〔東京2020組織委員会〕
〔東京都 オリンピック・パラリンピック準備局〕
 - 3 各分野の多言語対応の推進状況について
 - ①道路分野〔道路分科会(東京都 建設局、国土交通省)〕
 - ②交通分野〔交通分科会(東京都 都市整備局)〕
 - ③飲食・宿泊分野〔観光・サービス分科会(東京都 産業労働局)〕
 - 4 その他、意見交換 等



リオデジャネイロ2016大会 ICT視察報告 ～東京2020大会に向けた取り組み～

- ・登壇者 パナソニック株式会社 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 副本部長 北尾 一郎
- ・内容 人的対応や表示・標識の対応で課題を感じたが、ブラジル人は親切に声掛けされていた。街なかでは、やはり繋がるWi-Fiを町中に整備する必要がある、日本も2020年にはストレスのない通信環境を整えていきたい。
視察から見えてきたこととしては、言葉の壁を感じさせないような環境づくりの必要性。特に日本人はシャイで、外国人対応に戸惑うこともあるが、ICTの力でそれをサポートしたい。初めての異国で情報が入手できない状況は本当に不安になるため、必要な情報を入手できる仕組みづくりを外国人の方だけでなく障害者の方のためにも進めていきたい。



北尾 一郎 氏

学生から見たリオ大会レポート ～大会ボランティア～

- ・登壇者 東京外国語大学 Rio to Tokyo 2020 学生ボランティアチーム 山下 さおり
- ・概要 大学のStudy Tourという名目で通訳ボランティアに参加した。同じ大学からオリンピックには17名、パラリンピックには9名の学生が参加した。
現地で「積極性」「異文化理解」「事前準備」の大切さを学んだ。
2020年と言わず今から、語学力などはあまり気にせずに、町中の外国人に小さなおもてなしをしていけたら良いのではないか。



山下 さおり 氏

リオ大会報告 「外国人旅行者の受入環境整備」

- ・登壇者 株式会社ジェイティービー 取締役 訪日インバウンドビジネス推進部 部長 坪井 泰博
- ・概要 リオのオリンピック・パラリンピック開催時には、来場者が困らないよう、交通の結節点、会場周辺、会場内での案内に、視認性の良い案内サイン、英語対応にえられる人員配置をしているが、会場外対応については課題を感じた。しかし、大会運営に関わったボランティアが、その分ハートでカバーをしていた。
2020年、更にはその後を見据えてソフトとハードの融合がやはり大事で、ハード＝やさしさ、ソフト＝おもてなしの精神が、日本の新しいホスピタリティの完成につながる。



坪井 泰博 氏

多言語対応の取組

- ・登壇者 小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン
- ・内容 会話ならともかく、書いてある英語は完璧が求められる。また、単純な翻訳ミスのある看板も目立つ。タイトルだけ多言語対応し、重要な中身は多言語対応していない事例、WEBサイトでのスペルミス、ネイティブチェックをしていないが故のわかりづらさ、直訳が多く理解できない文章等々の事例がある。
また、日本人と外国人は基礎知識が全然違うため、日本人が満足する内容と、外国人が知りたいものは当然違う。翻訳さえすればいいという問題ではない。外国人の視点に立った多言語対応が求められる。



デービッド・アトキンソン 氏

多言語音声翻訳システムの研究開発及び社会実装 ～救急隊用等の実用化動向～

- ・登壇者 総務省 情報通信国際戦略局 研究推進室長 越後 和徳
消防庁 消防研究センター 地震等災害研究室長 久保田 勝明
- ・内容 総務省所管の国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)を中心に、「言葉の壁」を超えたコミュニケーションの実現を目指して「多言語音声翻訳システム Voice Tra」を開発。

消防研究センターとNICTの共同研究により、救急現場特有の会話内容を外国人に短時間で伝えるため、救急用語を追加した多言語音声翻訳技術の研究開発・実装化を進めており、実際に、平成28年7月6日、札幌市消防局が、多数の傷病者発生事故を想定した訓練で、当技術を利用した。



越後 和徳 氏



久保田 勝明 氏

文化財の英語解説のあり方について ～文化財の観光資源としての開花に向けて～

・登壇者 文化庁 文化財部 伝統文化課 企画係長 大村 祐大

・内容 平成27年度末にとりまとめられた「明日の日本を支える観光ビジョン」を踏まえ、文化財を貴重な地域・観光資源として活用するために、2020年までに取り組むアクションプログラムを策定。「文化財を中核とする観光拠点の整備」や「分かりやすい解説と多言語対応」について取り組んでいる。

文化財をただ見て終わってしまうのではなく、文化財の本来の価値・魅力をわかりやすく外国人観光客に伝えられるような環境整備を促進することが必要。そのため、平成28年7月に文化庁と観光庁が合同で、「文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議」を実施し、「文化財の英語解説のあり方について」を策定した。



大村 祐大 氏

避難場所等の図記号の標準化の取組

- ・登壇者 内閣府 政策統括官 防災担当付 参事官 普及啓発・連携担当付 参事官補佐
経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 工業標準専門職 榎 健介
- ・内容 災害対策基本法改正により、避難場所は災害種別毎に設定されている。関係府省庁等は連絡会議を設置して、避難場所等の図記号の標準化を進めることを決定。図記号のJIS制定に向けて、JIS原案作成委員会が図案を作成し、平成28年3月22日に図記号等をJIS制定。現在の取組状況として、国、地方公共団体において、本図記号の周知徹底や避難標識整備を図っていく。また、国際標準規格とすべく、国際標準機構(ISO)に提案中。



内閣府 政策統括官



榎 健介 氏

メッシュ型ビーコンを活用した多言語対応アプリ「ファーレ立川アートナビ」

・登壇者 立川市 産業文化スポーツ部地域文化課/主任 小山 裕二郎

・内容 ファーレ立川とは、立川駅北口の広さ5.9haに点在するパブリックアートの総称。機能（ファンクション）を備えた芸術作品が並び、驚きと発見のまちとして多くの方に楽しんでもらっている。日・英・中（繁体字・簡体字）・韓の5言語対応したガイドアプリを開発し、109点全作品の紹介をしている。オフライン対応、ビーコンによる位置情報即位機能、ARカメラによるガイド等、機能も充実。その他、訪日旅行者向けの動画をリリース予定。



小山 裕二郎 氏

バス車内における多言語システムについて

- ・登壇者 株式会社はとバス(一般社団法人 東京バス協会) 国際事業部長 加藤 一久
- ・内容 1952年7月から英語コースを運行し、長年にわたって多言語対応してきた実績がある。年間およそ9万人の訪日外国人の利用のある外国語のツアーにおいて、8言語対応の自動ガイドシステムを導入。GPS連動でタイミングの良い案内ができ、かつ、交通状況等に臨機応変な対応ができ、外国人旅行者に喜んでもらっている。



加藤 一久 氏

製・配・販連携協議会の商品情報多言語化の取組

- ・登壇者 製・配・販連携協議会(一般財団法人 流通システム開発センター 理事) 西山 智章
- ・内容 メーカー(製)・流通(配)・小売(販)の連携により、サプライチェーン・マネジメントの改善を図る製・配・販連携協議会(2011年発足)において、訪日外国人の買い物における言語の問題の軽減のため、商品情報の多言語化を進めている。
製・配・販が連携した共有インフラの構築・運用のあり方について検討し、この共通インフラを実際に構築し、実証実験を行い、商品のバーコードをスキャンするだけで商品の多言語表示ができるアプリの開発・改善を行っている。



西山 智章 氏

診療・臨床の場における多言語音声翻訳(VoiceTra)を活用とした試み

- ・登壇者 東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長 山田 秀臣
- ・内容 診療・臨床の場も国際化(在住外国人患者、外国人観光客、医療ツーリズム)が進み、現場では対応を迫られている。
対応は困難だが、東大病院では国際診療部を立上げ、外国人患者の受け入れを行っている。言語の問題を解決するためにNICTと連携し、音声翻訳技術を活用した実証実験を厚生労働省の倫理検査を受けて実施しており、医療現場においても、実用化に向けて取組を進めている。



山田 秀臣 氏

ショッピングツーリズム事業における多言語対応支援について

- ・登壇者 一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 事務局長 新津 研一
- ・内容 海外情報発信できる日本のショッピングポータルサイトを構築し、官民連携でWEBを活性化している。参加店舗が日本語で入力した情報を英・中(繁体字・簡体字)・韓の4言語に翻訳し公開。
免税制度導入の支援の一環で、免税店支援総合情報サイト「免税店.jp」を立上げ、店頭に必要な多言語ツールの提供も行っている。



新津 研一 氏

まずは日本語でこんにちは！ 墨田区での多言語対応

- ・登壇者 墨田区（ひらがなネット株式会社 代表取締役） 戸嶋 浩子
- ・内容 90か国、約1.1万人の外国人のクラス墨田区で、「やさしい日本語」を効果的に活用した事業や考え方の紹介、食材ピクトグラムを活用した多言語メニュー表制作支援、外国人向けWEBサイト、インバウンド講座、外国人と日本人の交流イベント等、総合的な取組を紹介。



戸嶋 浩子 氏

やさしい日本語の可能性

- ・登壇者
弘前大学 人文社会科学部 教授 佐藤 和之
一橋大学 国際教育センター 教授 庵 功雄
横浜市国際局 政策総務課 関谷 聡
やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長 吉開 章
- ・コーディネーター 首都大学東京 都市教養学部 教授 西郡 仁朗
- ・内容
全国的に他分野においてひろがっている「やさしい日本語」について、「災害対応」「生活情報」「行政情報」「観光ツール」の第一人者が初めて集い、「やさしい日本語」の可能性について多角的にプレゼンされた。
オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応を進める上で、さらに、ポスト2020年に向けた発展を目指すにあたって、相手の立場に立った多言語対応ツールとして、多文化共生社会に向かうツールとして『やさしい日本語』が存在している。
やさしい日本語に対して目を向けることができれば、多言語対応の取組主体も取組方法も広がり、大変意義がある。



西郡 仁朗 氏



佐藤 和之 氏



庵 功雄 氏



関谷 聡 氏



吉開 章 氏



全体の様子

- 1** タクシーの車内LED表示灯に「空車/Vacant」(空車/Reserved)と日本語/英語を併記。
- 2** 乗客機によるスキャン観覧サービス、サインageによる観光情報及び施設情報配信、スマホによる観光音声ガイドサービス
- 3** ①メガホン接続機能を活用する多言語音声観覧サービス
②可視光通信技術を開発させた当社独自の光ID技術を用いた情報連携サービス
- 4** 多言語翻訳・コミュニケーション、デジタル地図サインage、クラウドで提供するスマホ用観光アプリ機能についてご紹介します。
- 5** ①ペンダント型の最小規模を使った多言語音声観覧サービス
②不特定多数の外国人向け多言語音声合成サービス
③遠隔クラウドを構築した田舎電子案内板
- 6** 国立研究開発法人 情報通信研究機構
・言葉の壁をなくす多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」
・聴覚者と聴覚者のコミュニケーション支援アプリ「こえとら」SpeechCanvas
- 7** 世界初の音のID化を支援システム
外国人や聴覚障がい者にも伝わる「交通機関や観光の案内板、観光ガイド」などの日本語音声も、ネットを使わずに瞬時に翻訳文にしてスマホで表示。
- 8** 観光地での多言語案内可能なデジタルサインageやメガホン式拡声機、更に災害時に多言語でアナウンスや映像を流す機能を搭載
- 9** 緊急地震速報の発令時に地震情報を4言語(日本語、英語、中国語、韓国語)で表示と音声で通知するデジタルサインageです。
- 10** 自動翻訳と音声合成を活用した駅内および案内放送向けシステム、Webサイト自動翻訳サービス、接客で使える音声翻訳アプリ



- 11** 1. 多言語遠隔音声案内支援システム(ヘルスライフパスポート)
2. 聴覚障がい者向け 両眼X線検査支援システム(参考出展)
- 12** ・多言語ラベルを作成できるラベルライター
・外国人との車載用電子ナビ付
・多言語認識の案内表示パネル
- 13** 多言語に対応、利用者の状態を考慮した観光ルート案内や、観光スポットの効率的な立ち寄り順序を案内することができるシステム。
- 14** 多言語者起地図をはじめとした、訪日外国人向け観光ソリューションをご紹介します。
- 15** ・インタラクティブなサインageコンテンツ(多言語)を簡単に作成
・40型タッチディスプレイで双方向の情報提供に対応
- 16** 「自動音声翻訳、定型文機能、オペレーター翻訳」の統合型サービスで、特に自動音声翻訳エンジンは接客会話を強化しています。

(技術分野) AI・機械学習
 デジタルサインage
 ロボット

- 17** 国立研究開発法人 東京理科大学情報科学研究センター
おきまさと多言語(日、英、中、韓)で点読しながら点字や美術画などの施設案内や、観光情報を提供する案内ロボットです。
- 18** 鉄道・バス等の経路を多言語でご案内可能なWEBソリューション!
さらに、音声での徒歩ナビや、新しい利用案内は乗換ルートも
- 19** 既存の日本語印刷物を使用し、最大6言語のデジタルブック化することにより低コストで訪日外国人に情報が伝わります。
- 20** ・観光・イベント対応の高品質翻訳放送サービス
・施設対応にも利用可能な訪日カメラ遠隔監視サービス
- 21** 日本人と外国人が各々の言語で話せます。タブレット画面へのテキスト表示により会話内容を文字でも確認可能。
- 22** シャベリ置き皿(ユーザーインターフェース)は、外国人や聴覚障がい者との円滑なコミュニケーションを実現するツールです。
- 23** 自治体向け音声翻訳アプリ(スマホ版)と観光コンテンツ配信プラットフォームの仕組みについてご紹介します。
- 24** ①液晶とLEDを搭載した屋外用サインage、筐体の厚みは1.3cmと薄型。
②機械の本出の魅力を盛り込んでいるアプリ。
- 25** 非牟利より社会実証を推進、無償で実施し両利団体、タクシーの運転手と外国人旅行者(乗客)との多言語音声会話システムを構築しています。

No.	技術分野	利用シーン
1	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について タクシーの案内向けに「空車 / vacant」(空車 / Reserve)と日本語 / 英語を併記し、外国人利用者にもわかりやすい案内を実現しました。 2019年11月実施のことで200台のタクシーで導入されています。		

No.	技術分野	利用シーン
2	多言語、自動翻訳 デジタルサイネージ	観光、インバウンド
展示技術について ■スクリーン表示：道路を歩いているとスクリーン、クラウドで機械翻訳による多言語翻訳を行います。翻訳された情報は、表示欄にて印刷を行います。 ■サイネージソリューション：内容は観光情報、有事には防災情報を配信します。合わせて、観光案内ガイドや防災アプリにて、場所に応じた案内を行います。		

No.	技術分野	利用シーン
3	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について 【メカニカル型印刷】 メカニカル型印刷機を使用し、日本語を英・中・韓国語に翻訳、再生することで、空港や駅、様々な場面でお客様の言語をスムーズに行うことができます。 【LivePlay(光-01)】 デジタルサイネージ専用LED光を施す画面にIDを付与し、スマートフォンをかざすことで、お客様の設定言語での情報取得が可能です。		

No.	技術分野	利用シーン
4	多言語、自動翻訳 デジタルサイネージ	バリアフリー(障害者対応) 観光、インバウンド 防災対応
展示技術について ① 即時多言語自動翻訳による多言語でのリアルタイムコミュニケーション ② 音声対応用ハンズフリー端末による多言語音声翻訳システム ③ クラウドサービスで提供する、スマホ用観光アプリの提供機能 ④ 日・英・中・韓の4ヶ国語表示に対応した多言語デジタル案内サイネージ		

No.	技術分野	利用シーン
5	多言語、自動翻訳 デジタルサイネージ ウェアラブル	観光、インバウンド 防災対応
展示技術について ・ペンダント型の防犯型端末を使った多言語音声翻訳サービス 音声翻訳で観光案内人に対して最適なボランティア活動が出来ます。 ・不特定多数の外国人向け多言語音声案内サービス リアルタイムで多言語アナウンスを行います。 ・翻訳クラウドを構築した新たな電子案内 様々な情報の発信・検索・収集が出来る新たな電子案内です。		

No.	技術分野	利用シーン
6	国立研究開発法人 情報通信研究機構	多言語、自動翻訳 観光、インバウンド、バリアフリー(障害者対応)
展示技術について 情報通信研究機構(NICT)は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究所です。私たちの研究所では人と人とのコミュニケーションを豊かにする研究開発を行っています。このたびは「世界の壁」をなくす、多言語音声翻訳アプリ「VoiceTree」と、世界が近い者と理解者とのつながり創造のためのコミュニケーションの推進に寄与(こまると)「SavvyCarve」をご紹介いたします。		

国立研究開発法人
情報通信研究機構

No.	技術分野	利用シーン
7	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド 防災対応 バリアフリー(障害者対応)
展示技術について ■初めて知し、ガイド「言葉がわからない」「音が聞こえない」、そんな時に「読んでほしいガイド」を提示し、アナウンスやショーなどの内容を、多言語でスマートフォンで確認できます！ 本展示では、商業施設、電車、空港などで実際に適用中のアナウンスを用いた字を解説してあります。		

No.	技術分野	利用シーン
8	デジタルサイネージ	観光、インバウンド 防災対応
展示技術について テック案内で多言語の観光案内、空港には3ヶ国語案内を多言語で表示できる、案内図解型デジタルサイネージ【自由乗入れ実績あり】、観光案内や災害時のアナウンスなど多言語の大型文字を音声で伝えるメカニカル型印刷機【ML/タッチメモリアル】、ブック型サイネージ【電子ターニングブック】		

No.	技術分野	利用シーン
9	デジタルサイネージ	観光、インバウンド 防災対応
展示技術について 観光地や通商圏を結ぶデジタルサイネージ 観光地や通商圏4言語(日本語、英語、中国語、韓国語)で表示と音声で通知します。 ・通線に続き遊覧船などを案内します。 ・3D図解の利用により遊覧案内の視認性を拡大します。		

No.	技術分野	利用シーン
10	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド 防災対応
展示技術について		
<ul style="list-style-type: none"> ■多言語対応言語システム：自動翻訳と音声合成技術を活用した観光情報案内や防災対応の音声システム ■ARのサイト内ナビゲーションサービス：スマートフォンでホームページを多言語化 ■音声翻訳アプリ：オンラインユーザー群書により翻訳精度を向上できるクラウド型音声翻訳アプリ 		

No.	技術分野	利用シーン
11	多言語、自動翻訳 ウェアラブル	観光、インバウンド バリアフリー(障害者対応)
展示技術について		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光外国人が観光地内で迷った場合に、多言語で迷った状況を確認することができ、観光地内の案内板が音声案内を行います。 2. 4. 迷路を案内する際の案内や緊急時を視覚的に表示するシステムです。視覚障害者の緊急時対応が可能なサービスに、視覚案内を行います。 		

No.	技術分野	利用シーン
12	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド バリアフリー(障害者対応)
展示技術について		
<ul style="list-style-type: none"> ■新しい操作なしで多言語レベルが対応できる「ダブルライター」 ■多言語対応の音声案内の表示、100mm程度のレベルで大きな案内表示も対応可能 ■音声の方との円滑なコミュニケーションを実現する「音声案内システム」 ■タブレット対応の音声案内システムによる「音声案内システム」 		

No.	技術分野	利用シーン
13	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<ul style="list-style-type: none"> ■多言語対応、観光ルート案内・誘導プラン構築システム ■行先別案内システム：観光客ごとに異なる「出発地」と「最終目的地」、「自由に行動できるルート」を構築した、観光ルート案内システム ■行先別案内：行きたい観光スポットを登録し、最も簡単な立ち寄り順序を提案する一日の観光プラン構築システム 		

No.	技術分野	利用シーン
14	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<ol style="list-style-type: none"> 1) Web版多言語観光案内サービス 2) 観光ナビアプリ多言語観光案内ソリューション 3) 音声案内システムをデジタル化した現在の観光案内と持ち合わせ情報共有ができるサービス 		

No.	技術分野	利用シーン
15	多言語 デジタルサイネージ	観光、インバウンド
展示技術について		
<ul style="list-style-type: none"> ■インタラクティブデジタルサイネージ(多言語対応) ■外国人向けタッチコンテンツを制作。4Kディスプレイで高精細に表示。 ■40V型タッチディスプレイ ・表示するコンテンツをタッチ操作で選択できるので、多言語対応や案内表示等、実用性の高いサービスに対応。 		

No.	技術分野	利用シーン
16	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<ul style="list-style-type: none"> ■「自動音声案内、定型文音声、オペレーター選択」の統合型サービス ■音声合成を学習した自動音声翻訳エンジンを活用 ■英語、中国語をはじめとした10言語に対応(オペレーター選択は4言語対応) ■誰でもかんたんに操作ができる分かりやすいユーザーインターフェース 		

No.	技術分野	技術分野	利用シーン
17	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター	多言語、ロボット	観光、インバウンド
展示技術について			
<p>お客様と多言語(日、英、中、韓)で会話しながらホテルや観光地などの施設を案内したり、観光案内所で案内の観光スポットやグルメ、ショッピングなどの情報提供をしたりする案内ロボットです。</p> <p>移動距離と施設の構造、経路計画等によって目的地へ音声案内、音声合成等によりお客様を案内します。</p>			

No.	技術分野	利用シーン
18	多言語、自動翻訳 デジタルサイネージ	観光、インバウンド バリアフリー(障害者対応)
展示技術について		
<p>施設案内の最新技術！</p> <p>「観光地」から「目的地」までコンテンツに、わかりやすく、正確な案内や音声案内のホームページ、観光案内のサイネージ、観光案内で利用されているWEBサービス。</p> <p>また、「音声」による観光ナビゲーション、新しい技術者への観光案内、「最新の自動プランニング技術」も。</p>		

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

No.	技術分野	利用シーン
19	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド バリアフリー(障害者対応)
展示技術について		
<p>の翻訳対応のデジタルブックソリューション。既存の日本語版を基に、多言語デジタルブックにすることにより低コストで即日、在留外国人に提供が出来ます。また、自動音声読み上げ機能で、より多くの方に情報を伝えられます。2020年に向けて多言語版を準備してまいります。</p>		

No.	技術分野	利用シーン
20	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド 防災対応
展示技術について		
<p>■翻訳放送サービス 放送直前にこだわった観光・インバウンド対応に利用可能な翻訳放送サービス</p> <p>■防災カメラ遠隔見守りサービス 災害発生時カメラを使用した、防災対応にも利用可能な防災カメラ遠隔監視サービス</p>		

No.	技術分野	利用シーン
21	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<p>翻訳した内容を「音声案内」や「文字案内」し、日本人と外国人の対話を支援します。案内でよく使われる定型的な対話内容を事前登録・翻訳する「定型文翻訳」と、対話内容を自動翻訳する「自由文翻訳」のハイブリッド翻訳方式を採用。翻訳の精度向上を実現しました。</p>		

No.	技術分野	利用シーン
22	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド 防災対応 バリアフリー(障がい者対応)
展示技術について		
<p>しゃべりながら「ユーザーインターフェース」が、話した言葉を音でなかった場所に出来るコミュニケーション支援ツールです。お昼時や多言語翻訳などを組み合わせ、外国語や手話ができなくても、外国人や聴覚障がい者との円滑なコミュニケーションが可能です。</p>		

No.	技術分野	利用シーン
23	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<p>「旅道」という、情報も楽しめたい日本の旅道に向けて、さまざまな企業・団体と取り組む活動のご紹介をします。</p> <p>具体的には、「コンテンツ力」と「コミュニケーション力」を活かした、自治体向け音声翻訳アプリ(スマホ版)、「旅道プラットフォーム」の仕組みについてのご紹介となります。</p>		

No.	技術分野	利用シーン
24	デジタルサイネージ 多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<p>①しほり県産物産物サイネージ 連携としほりによる表示が可能な、液晶と強化ガラスとの物産物なくコントラスト・表示性能が向上、本体の厚みが13cmと薄型。</p> <p>②社よりみちアプリ(AR) 地域の本当の魅力を盛り込みにしていくアプリ。観光資源の発信と地域ブランドの確立により、県の地域活性化を促す。</p>		

No.	技術分野	利用シーン
25	多言語、自動翻訳	観光、インバウンド
展示技術について		
<p>① 伝達情報を活用することにより、翻訳精度を向上 →方言や地方発音の誤りも同等と、発音で合わせて翻訳して実現します。</p> <p>② 「はばあおのせりげ」、「ピンクしょうぶ」、「いけい」など 翻訳の補助として画像・動画を表示して理解を向上 →翻訳結果が正しくても伝わりやすい画像イメージで伝えます。</p>		



ホワイエ 多言語対応協議会 構成団体展示

A **国土交通省国土地理院**
外国人にわかりやすい地図の普及を目的に、本年3月に決定した「地名等の英語表記規程」及び「外国人向け地図記号」を紹介。

B **観光庁**
「Safety tips」
災害時のプッシュ型情報発信アプリ
訪日外国人旅行者向け海外旅行保険
訪日後でも加入可能な「インバウンド保険」

C **東京都オリンピック・パラリンピック準備局**
【多言語対応協議会及び東京都の取組】
外国人旅行者の円滑な移動と、安心して快適に滞在できる環境のため官民一体で取組を推進

D **墨田区**
英語・日本語併記のメニュー表を飲食店等に設置し、おもてなしをする取組み「Oishii Sumida Tokyo」です。

E **江戸川区**
訪日外国人向けに英語で江戸川区内飲食店を紹介する動画「EDOGAWA美味NAVI」。YouTubeで絶賛放映中です。

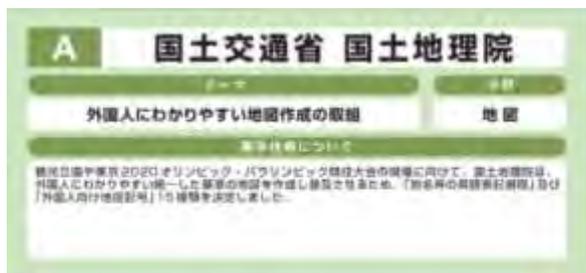
F **立川市**
立川市が世界に誇るパブリックアート「ファーレ立川アート」を多言語でガイドする無料アプリ「ファーレ立川アートナビ」

G **株式会社はとバス**(一般社団法人 東京バス協会員)
TOMODACHIシステム
8言語対応GPS自動ガイドシステム

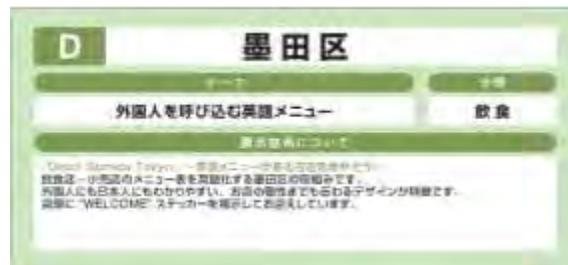
H **ジャパンショッピングツーリズム協会**
JSTOが取り組んでいる海外観光客向けショッピングのポータルサイトおよび多言語店頭支援ツールの取組みのご紹介

I **近畿日本ツーリスト株式会社**(一般社団法人 日本旅行業協会員)
日常会話に限らず、観光業務に想定される独特な会話および音声データを収集した観光事業者様用の音声自動翻訳配信サービスです。

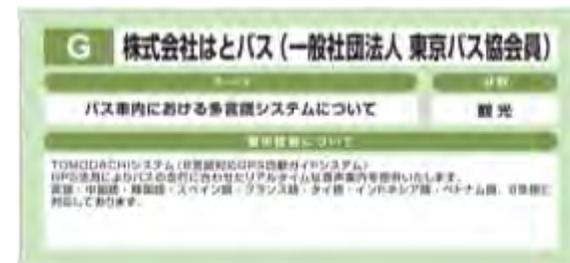




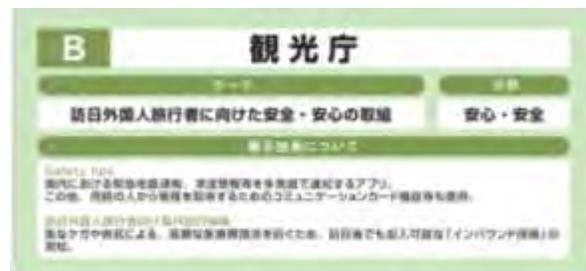
国土交通省 国土地理院



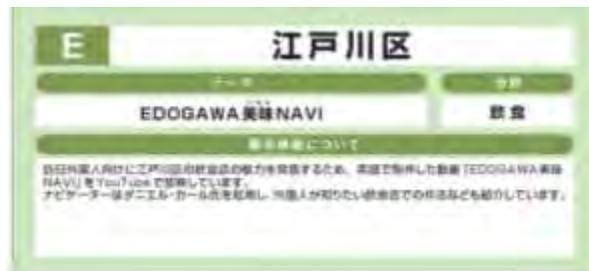
墨田区



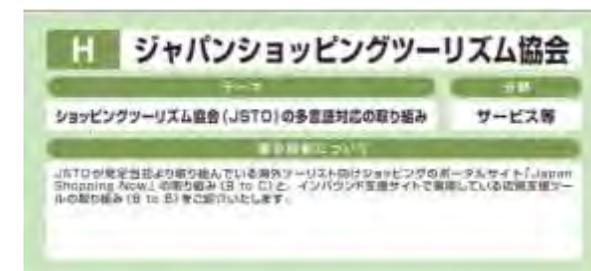
株式会社はとバス



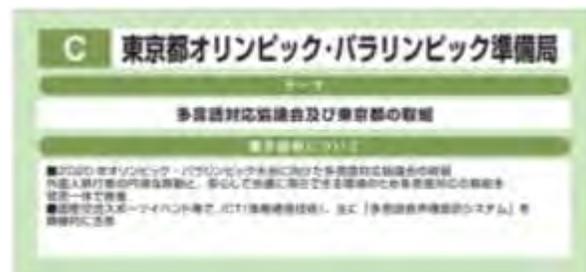
観光庁



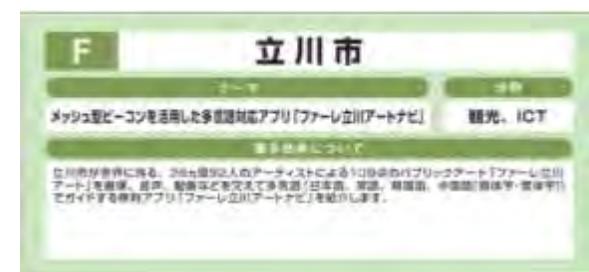
江戸川区



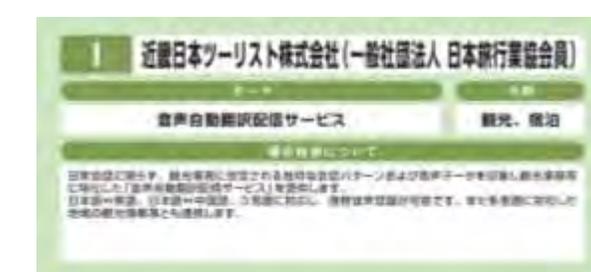
ジャパンショッピングツーリズム協会



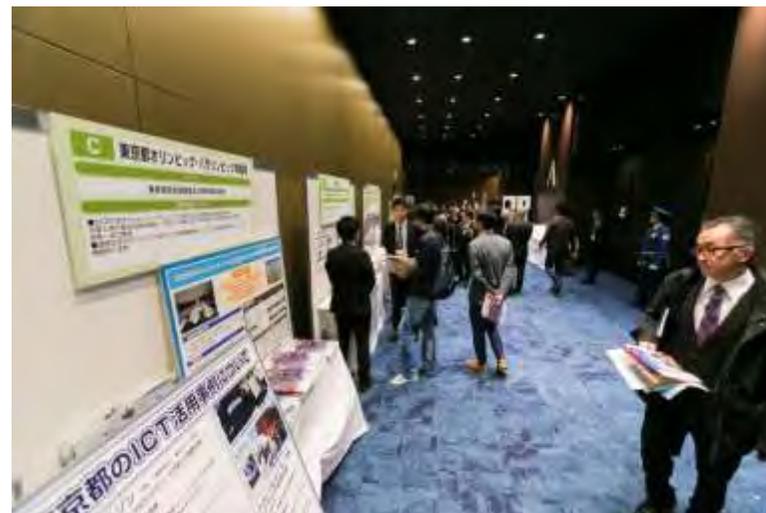
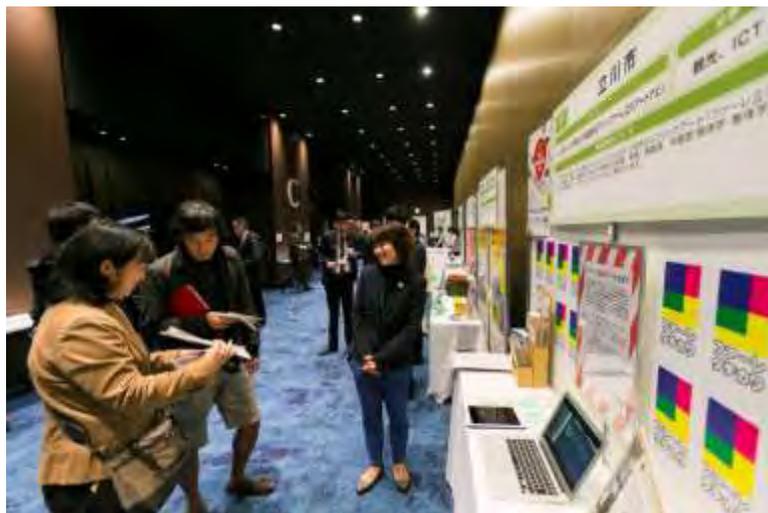
東京都オリンピック・パラリンピック準備局



立川市



近畿日本ツーリスト株式会社



協議会構成団体による展示 9団体

ホワイエ 多言語対応協議会 構成団体リーフレット配布写真



協議会構成団体によるリーフレット配架
17団体

ホワイエ 多言語対応協議会 構成団体リーフレット配布一覧

団体名	リーフレット名
国土地理院	外国人にわかりやすい地図作成の取組
観光庁	①Safety tips ②Do you have international travel medical insurance?
文部科学省	国立科学博物館館内ガイド(4か国語)
オリンピック・パラリンピック準備局	①NO LIMITS CHALLENGEクリアファイル ③「2020年に向けた東京都の取組」(日・英) ⑤かんたん パラリンピックガイド ⑦ラグビーW杯クリアファイル ⑨ラグビーW杯1000日前カウントダウンイベントリーフレット ⑪多言語対応協議会ポータルサイトリーフレット ②大会概要ブローシャ ④パラリンピックガイド ⑥みんなパラ(絵葉書) ⑧ラグビーW杯サポーターズクラブ ⑩ボランティアシンポジウムリーフレット
荒川区	①荒川ブランド ②日暮里観光案内所・南千住観光おもてなしサロン
墨田区	①まずは日本語でこんにちは！ ③本物が生きる街すみだ ②Oishii Sumida Tokyo
品川区	①東京品川達人(7か国語) ②SHINAGAWA CITY Convenient City for your Pre-Games Training Camp
練馬区	①練馬区の多文化共生事業のご案内 ③文化交流広場・情報コーナーリーフレット ②ようこそ練馬区へ！地域振興課多言語相談リーフレット ④ボランティア日本語教室
江戸川区	EDOGAWA 美味 NAVI
立川市	①立川観光ガイドマップ(3か国語) ③Tachiwaka City Free Wi-Fi Users GUIDE ②ファーレ立川アートナビ
羽村市	Tokyo Hamura Travel Guide Map(4か国語)
埼玉県	①指さしコミュニケーションシート ③Guide Map to Koedo in KAWAGOE ②小江戸川越見聞録
川崎市	かわさきパラムーブメント(2か国語)
山梨県	①富士山を楽しもう！(2か国語) ②やまなし観光&イベントガイド
静岡県	富士山登山者のために(2か国語)
東京バス協会	①Tokyo One-Hour Tour on Open-Top Bus 'O sola mio' ②Tokyo/Mt.Fuji/Hakone/Nikko
東京観光財団(TCVB)	平成28年宿泊施設向け支援事業ご案内